

2011年5月17日

桑名市議会議員

愛敬重之

### 第6回桑名市就学前施設再編検討委員会傍聴

桑名市より協議事項として、就学前施設の再編の基本的な考え方について2点上がりました。

- ① 中学校ブロックを子どもたちの生活圏域と捉え、地域性を考慮し、中学校ブロックを基本単位として再編の検討
- ② 公立幼稚園の再編と国の「こども園構想」への対応
  - ・ 子どもたちの社会性を育むための集団の確保
  - ・ 4歳児実施園を中心に検討
  - ・ 独立園化
  - ・ 原則分団登園の廃止
  - ・ 4～5歳児の定員の設定
  - ・ 預かり保育の検討
  - ・ 幼保一元化施設の検討

#### (1) 就学前人口は？

桑名市の0～5歳児の就学前人口がH17年3月～H22年3月の6年間ではほぼ500人減。桑名市においても少子化は避けられない状況

#### (2) 保護者のニーズは？

働いていないお母さん「すぐに働きたい」「子どもがある程度大きくなったら（3歳）働きたい」90%を超える。利用したい保育サービスの種類「幼稚園の預かり保育」「病児・病後児保育」「一時保育」が高い。

#### (3) 就学前施設の現状

桑名市55園（私立5園・私立保育園17園・公立幼稚園24・公立保育園9）4歳児・5歳時共に減少傾向にあるのは公立幼稚園であり、特に5歳児の減少は著しい現状。

#### (4) 公立幼稚園の現状

桑名地域⇒1小学校区1園

多度地区⇒小学校5→幼稚園は1園

長島地区⇒小学校3→幼稚園は4園

など踏まえ、桑名市のホームページ内にあった過去の会議録など見ると、また同じ話し合いになっていたような感じになりました。

やはり、私立のスタッフの方たちは経営に直結する話題であり、私立は私立の思いが強く、公立のスタッフはスタッフで思いがあり、最終的には、公立の役割は？PR不足？何か協議事項から完全に離れてしまった感がありました。

もう一度、再編を進めるにあたってのキャッチフレーズ「子どもの笑顔と保護者の安心」を、基軸に、働くお母さん達が安心して子どもを預ける事が出来る【桑名市の就学前施設再編の完成】をお願いしたいと感じました。